

3 各部局等の BSD 活動

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 14 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和5年度第1回FD研修会	新任教員説明会<教育・学生編>	4月4日	3名	主催, 全体88名
令和5年度第2回FD研修会	分野を超えた専門知の組み合わせとは ~Society 5.0における人材育成の姿~	8月8日	7名	主催, 全体118名
令和5年度第3回FD研修会	KU-DPアドバイザリーボード「実践インターンシップを通じた学びの成果発表と意見交換」	9月27日	6名	主催, 全体62名
令和5年度第4回FD研修会	FD活動報告書成果発表会	10月27日	6名	主催, 全体51名
学術マネジメントセミナー2023	文理横断・文理融合教育を通じた学修成果の可視化と学生の成長	11月28日	4名	主催, 全体166名
大学院改革セミナー	なぜ今、人文社会系大学院の改革・拡充なのか?	1月23日	3名	
「知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)」成果発信シンポジウム	STEAM教育を通じた高大院接続による人材育成エコシステムの構築を目指して	2月27日	8名	主催, 全体145名
未来創成教育環シンポジウム	教育現場のAI使用	3月13日	2名	全体121名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロックシンポジウム	数理・データサイエンス・AI教育の進展 ~応用基礎レベル モデルシラバス(理工系)の普及に向けて~	6月8日	学務課 6名	主催, 全体100名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロックシンポジウム	「デジタル人材育成における高等教育機関への期待及び産業界での実践」	10月31日	学務課 8名	主催, 全体135名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 第2回北信越ブロック会議	サイバーセキュリティ推進校の取り組みを紹介	2月14日	学務課 6名	主催, 全体58名
大学コンソーシアム石川 令和5年度FD・SD研修会(第1回)	生成AIのあれこれ	9月15日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和5年度FD・SD研修会(第2回)	合理的配慮について	11月6日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和5年度FD・SD研修会(第3回)	金沢大学における教育DX推進について	3月12日	1名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	外部機関が主催する研修会に参加したほか、主催にて学務系職員対象に数理・データサイエンス・AI教育SD研修会を開催し、数理・データサイエンス・AI教育の意義や本学の文部科学省指定コンソーシアムの北信越ブロック代表校としての役割について理解を深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学生支援課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
学生の自死防止のための研修会	大学生の命を守る —大学としてできること—	12月6日	7名	学生自死防止専門委員会主催、全学FD委員会、KUGSサポートネットワーク本部会議・学生生活委員会共催、全体75名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

・保健管理センターや障がい学生支援室、就職相談窓口の有機的な連携に事務職員も貢献し、対応状況を共有することでBSDにつなげている。

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	教職員のニーズを反映したテーマでの講師による研修会を行い、懸念のある学生をはじめとする学生への対応に係る教職員の理解が更に深まり、学生支援体制の強化につながった。また、平素から複数窓口の連携が必要な問題のある学生に関し、事務職員も積極的に関与することがOJTに結びついている。	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課新学術創成研究科係

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
融合科学共同専攻FD研修会	本学とJAIST間で相互の研究内容についての理解の促進・社会人学生受入れのカリキュラムについて	3月1日	3名	主催, 全体13名 他JAIST教員
ナノ生命科学専攻FD研修会	留学生受入れに関する注意点についてのレクチャー及び具体的な事例についてのワークショップ	3月7日	3名	主催, 全体16名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	融合科学共同専攻FD研修会, ナノ生命科学専攻FD研修会に出席し, 教員の研究内容, 各専攻における課題の共有やそれに対する今後の取り組みや留学生への対応について, 共有することができた。	今年度も引き続き, 教員と課題について共有を図り, FD研修会の企画・実施を進める。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部入試課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和6年度入学者選抜試験(一般選抜)合格者判定資料等に関する説明会	主体性評価方法及び合格者判定資料等についての説明をオンデマンドで実施	1月19日 ~29日	6名	主催, 全体110名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

令和6年度入学者選抜試験(一般選抜)事務担当者打ち合わせ会及び案内業務説明会を、昨年度に引き続きオンデマンド形式で実施し、繁忙期においても担当者がいつでも繰り返し内容を確認可能とした。
--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	昨年度と同様の取り組みを実施し、令和6年度入学者選抜試験を無事に実施することができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部基幹教育支援課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	次年度も引き続き対象者に向けて実施する予定である。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和5年度前期 学生相談担当者研修会	なんでも相談室の基本方針, ハラスメント相談への対応, 相談をうけるとき基本的な態度, 共通教育のカリキュラムや履修登録の方法等の説明をオンデマンドで実施した。	オンデマンド	4名程度	主催(全体参加者数19名程度)

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

国際基幹教育院主催FD研修会に毎回1~5名程度が参加している。

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「学生相談担当者研修会」は、毎年度相談員となるメンバーが変わるため、継続した開催が必要と思われる。	次年度も引き続き実施・参加する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 融合系事務部学生課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	引き続き、融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介等に参加する。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 19 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数 (概数)	備考
第8回融合学域FD研修会	学生の要望等について	4月27日	4名	全体21名
第9回融合学域FD研修会	MATLABを活用した講義について	6月22日	3名	全体18名
第10回融合学域FD研修会	DS.INSIGHT(ビックデータ分析ツール)の説明	7月27日	4名	全体19名
第11回融合学域FD研修会	融合研究・融合演習・融合試験について	8月24日	5名	全体25名
第12回融合学域FD研修会	教育方法改善	9月28日	5名	全体21名
第13回融合学域FD研修会	教育DX化に向けたMATLABの活用	10月26日	2名	全体12名
第14回融合学域FD研修会	海外WGからの海外留学実施報告など	11月30日	5名	全体23名
第15回融合学域FD研修会	カリキュラムについての自由討議	1月25日	4名	全体18名
第16回融合学域FD研修会	基礎科目・データサイエンス	2月22日	3名	全体16名
第17回融合学域FD研修会	能登震災に対する教育研究などについての自由討議	3月28日	5名	全体13名
知識集約に係るFD研修会	金沢大学知識集約型社会を支える人材育成事業(KU-DP)における取組概要説明	5月11日	5名	全体33名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	9月14日	4名	全体33名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	10月12日	4名	全体31名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	11月9日	4名	全体32名
ハラスメント防止研修	ハラスメント防止研修	7月13日	4名	全体32名
令和5年度第1回観光デザイン学類ワークショップ	令和6年度開講科目、アドバイス教員等について	7月28日	5名	全体22名
令和5年度第2回観光デザイン学類ワークショップ	令和6年度開講科目、鍛練科目等について	10月25日	5名	全体21名
令和5年度第3回観光デザイン学類ワークショップ	令和6年度開講科目、ボランティアに関する科目、海外派遣公式プログラム等について	2月16日	5名	全体20名
スマート創成科学類ワークショップ	令和6年度開講科目、アドバイス教員等について	10月26日	5名	全体21名
スマート創成科学類ワークショップ	令和6年度開講科目、アドバイス教員等について	1月25日	5名	全体21名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	融合学域FD研修会，融合学域教員研究シーズ紹介，及び学類ワークショップに参加し，教員との情報共有を行った。	引き続き，融合学域FD研修会，融合学域教員研究シーズ紹介，各学類ワークショップ等に参加する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 人間社会系事務部学生課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	4	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
人間社会学域FD研修会(第1回)	人と自然の共生－恵みと災いの両面から－	6月15日	1名	
人間社会学域FD研修会(第2回)	COIL型教育を推進するために	9月28日	1名	
人間社会学域FD研修会(第3回)	ハラスメントのない大学を目指して	10月27日	8名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	課独自に研修を行うことは負担が大きいことから難しいものの、学生支援に関わるテーマのFD研修会を活用して、BSD活動を行うことが出来た。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 理工系事務部学生課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	2	来年度の活動予定において、時期の移動や回数増などの変更は予定していない。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
理工学域及び自然科学研究科のFD講演会	博士人材のキャリアパスと理工系人材の育成	7月26日	20名	主催, 全体80名
理工学域・自然科学研究科 第15回FDシンポジウム	授業形態と学習効果2	3月25日	2名	主催, 全体88名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
2	教員向けの講演だったため、事務職員として知識を得る内容ではなかった。	来年度の活動予定において、時期の移動や回数増などの変更は予定していない。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部学生課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	4	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 8回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
第1回医学系FD研修会	医療人材教育研究センターについて	4月10日	3名	
第2回医学系FD研修会	金沢大学医学類の使命	5月15日	2名	
第3回医学系FD研修会	多職種連携教育(IPE)へ取り組むには? 医療人材教育に求められるIPEへの展望と課題	6月23日	2名	
カリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーの体系的整理に係るオンライン説明会	学士課程(専門教育科目)におけるカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーの見直し	6月27日	2名	
医学系FD特別講演	授業をやめ、医療現場を経験すれば、学生は自ら勉強する	7月27日	3名	
第7回医学系FD研修会	多職種連携教育(IPE)へ取り組むには? 医療人材教育に求められるIPEへの展望と課題	11月24日	3名	
学生の自死防止のための研修会(金沢大学学生自死防止専門委員会)	大学生の命を守る-大学としてできること-	12月6日	6名	
第8回医学系FD研修会	発達障害等の支援ニーズがある学生に対する合理的配慮	12月18日	2名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催者を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
4	令和5年度より設置の医療人材教育研究センターによるFD研修会と合同で医学系FD研修会を実施しており、事務職員が参加しやすい環境が整っている。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部薬学・がん研支援課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
薬学4年制課程卒業生の薬剤師国家試験受験資格認定に関する勉強会	薬学4年制課程の卒業生が薬剤師国家試験受験資格を取得できる制度について, 制度の概要や手続きに必要な知識の勉強会を行った。	9月25日	2名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「研修」という形式にまでは至らないものの、日常業務のOJTによる教務システムや教員が利用するWebClassの使い方などの知識向上やスキルアップに努めている。また、専門部署や関係教員等にアドバイスを求め、その内容等の情報共有を課内で密に行っている。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部保健学支援課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和5年度第1回保健学系FD研修会	こころの健康づくりについて	3月31日	2名	主催, 全体24名
令和5年度第4回保健学系FD研修会	ハラスメントのないキャンパスをつくるために —アサーションの観点から考える—	12月6日	5名	主催, 全体42名
令和5年度第5回保健学系FD研修会	未来は自分で守る:HPVワクチンはなぜ必要か?	3月6日	5名	主催, 全体40名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	現在の学生の特徴や、こころの健康のサポート, ハラスメント防止をテーマとした教員向けのFD研修会への参加を通じて、学生への支援のあり方について理解を深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

令和5年度BSD活動報告(様式)

課名 国際部留学企画課

参考資料: 令和4年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和4年度の自己評価	令和5年度の改善に向けての取組み予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載
照会事項3 自己評価及び総評 令和4年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和5年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和5年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
大学国際教育交流・派遣留学管理者向け危機管理オンラインセミナー	『With & Postコロナ時代の海外派遣留学に備える大学の危機管理』 ～2大学からの体験談発表～	6月12日	1名	日本アイラック主催, 全体178名
2023年度金沢大学学生の海外渡航危機管理シミュレーション	海外公式プログラムに参加中の学生の交通事故を想定した危機管理対応シミュレーション	7月28日	6名	主催, 全体44名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和5年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和5年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 ※自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	昨年度から継続して「海外渡航危機管理シミュレーション」を実施し、学内危機管理対応マニュアルに沿った危機管理対策本部および各部署の役割・対応を確認し、現実の有事におけるスムーズな対応に効果があった。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2 3抜粋)

3-1 照会事項1 BSD研修会の実施状況

(参考)

	名称	内容	参加人数(概数)	備考
事務局	令和5年度金沢大学初任者研修	事務・技術系の初任職員に対して、本学の基本的事項について講義、見学体験等の多様なプログラムを提供し、「金沢大学職員」としての基礎的な能力を身につけさせることにより、今後の大学事務執行の円滑化を図る。	16名	金沢大学
	令和5年度北陸地区国立大学法人等初任者研修	新たに採用された事務系・技術系職員に対し、国立大学法人等事務に関する基礎的知識を修得させ、事務能率の増進を図ることを目的とする。	16名	金沢大学
	令和5年度人事評価研修(評価者研修)	人事評価制度を有効に活用することにより、本学職員の能力開発、意欲向上に寄与するため、対象者に本制度の意義や適切な目標設定等について理解させるとともに、評価者に共通の尺度や評価眼を養成し、公正・公平な評価を行うためのスキルとフィードバックのためのスキルを習得させることを目的とする。	10名(+オンライン参加副課長16名) 計26名	金沢大学
	第17回中部地区メンター養成研修	職場におけるメンター、メンタリングに関する基本的な知識とコミュニケーション・スキルを習得させる。	3名	人事院中部事務局
	令和5年度北陸地区国立大学法人等マネジメント研修	国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化する中、大学の事務組織には、変化に即応し、課題を解決する能力が求められる。そのためには、管理職が組織の力を最大限に活用することが必要であることから、それらを実現するための、マネジメント能力の向上を図ることを目的とする。	7名	金沢大学
	令和5年度金沢大学職員ビジネス英語研修	2014年度に採択された「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、本学における教育研究の国際化・グローバル化に対応するための事務職員等の英語力強化(英検2級(TOEIC600点)以上)を目指し、さらに、本学が海外展開していくために求められる国際対応力を備えた事務職員等の養成を図る。	e-learning 17名 TOEIC-IPテスト 受験者 17名	金沢大学
	令和5年度公文書管理研修Ⅱ(第1回)	国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化する中、大学の事務組織には、変化に即応し、課題を解決する能力が求められる。そのためには、管理職が組織の力を最大限に活用することが必要であることから、それらを実現するための、マネジメント能力の向上を図ることを目的とする。	1名	独立行政法人 国立公文書館
	令和5年度国立大学法人等部課長級研修	国立大学法人等の部長級、課長級職員を対象に、大学運営の基本的知識の修得と幹部職員としての能力の向上を図る。	1名	国立大学協会

3-1 照会事項1 BSD研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数(概数)	備考
事務局	石川県「コーチングスキル研修」	部下や後輩の育成にあたり、主体的に行動することができる職員を育成するためのコミュニケーション方法をはじめとしたコーチングのスキルについて習得する。	4名	石川県自治研修センター
	石川県研修「行政クレーム対応研修」	行政クレームへの対処方法を学ぶとともに、円滑な県民対応に資するコミュニケーション能力の向上を図る。	2名	石川県自治研修センター
	石川県「ネゴシエーションスキル(交渉力)向上研修」	窓口などの渉外業務を遂行する上で必要となる実践的な交渉力の向上を図る。	9名	石川県自治研修センター
	石川県「ワンペーパー資料作成研修」	様々な情報を図解等を用いて整理し、ワンペーパーにまとめるスキルを習得する。	計13名	石川県自治研修センター
	令和5年度国立大学病院係長級研修	国公立大学病院において現場を管理・運営する立場にある係長級の者に対し、与えられた各係の役割遂行に向けて、係内のメンバーを育成する等、生産性の高い係の構築により、成果を上げることが求められている。本研修では、そのためのスキルや、次期課長補佐級としての資質向上を目指し、組織内外の関係者と調整するコミュニケーションスキル、問題解決の手法等を習得することを目的とする。	1名	全国国立大学病院事務部長会議総務委員会
	石川県研修「ファシリテーションスキル向上研修」	会議などの集団活動を円滑に進める方法を学び、個々の力を最大限に引き出しながら、組織として効率よく質の高い成果をあげるために必要なスキルについて学ぶ。	4名	石川県自治研修センター
	石川県「説明力向上研修」	県民や上司などに対して、正確で分かりやすく説明するために必要なスキルやコツなどを実践的な演習を通して習得する。	7名	石川県自治研修センター
	令和5年度トップマネジメント経験研修	事務系の初任職員に対して、大学の運営に係る重要事項が実際にどのように決定されていくのか、また、大学のトップが、日々どのように思考し、どのような活動を行っているのか、身近に経験させる。 さらに、18歳人口が減り続ける状況下で、大学存続に対する危機感や、大学職員としての主体性を持って、事務をつかさどることができるよう、研修直後から年度末にかけて体系的にフォローすることにより、大学経営への関心を深め、将来大学経営に参画できる人材を育成する。	計13名	金沢大学

3-1 照会事項1 BSD研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数(概数)	備考
事務局	令和5年度東海・北陸地区国立大学法人等人事担当者(係長級以下)研修	この研修は、東海・北陸地区の国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関(以下「国立大学法人等機関」という。)の人事担当者(係長級以下)に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、法人職員の資質の向上と職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	6名	国立大学法人豊橋技術科学大学
	石川県「文書作成力向上研修(基礎編)」	文書とは情報伝達のための重要な手段であることから、その作成についての基本原則やルールを学び、読み手にとって分かりやすく、かつ、適切な文書を作成する能力の向上を図る。	計11名	石川県自治研修センター
	石川県「アンガーマネジメント研修」	怒りの感情と上手く付き合い、ストレスの軽減や円滑なコミュニケーションを図る。	1名	石川県自治研修センター
	令和5年度東海・北陸地区国立大学法人等会計事務職員研修会	東海・北陸地区国立大学法人等の事務職員に対して、国立大学法人会計基準等に関する知識を習得させ、かつ、国立大学法人等職員として必要となる見識を研修することにより、各職員の資質の向上を図ることを目的とする。	8名	岐阜大学
	令和5年度国立大学法人等施設担当職員研修会(初任クラス)	国立大学法人等の施設担当職員として自己の能力を十分に発揮できるよう、国立大学法人等の現況や動向などの概論について理解させるとともに、国立大学法人等の施設整備に係る多様な業務について、初任職員として必要な基礎的知識を習得させる。また、グループごとに課題テーマに対して全員で討議を行い、メンバーの相互コミュニケーションを通じてテーマに対する理解を深め、今後、業務に生かすことのできる人的ネットワークの構築を図る。	1名	国立大学協会
	令和5年度北陸地区国立大学法人等中堅職員研修	北陸地区国立大学法人等の中堅職員に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	20名	福井大学
	石川県「文書作成力向上研修(応用編)」	事例演習を通して、文書に説得力を持たせる構成方法を学ぶとともに多彩な表現方法に触れ、自らの文書表現力をさらに高める。	1名	石川県自治研修センター

3-1 照会事項1 BSD研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数(概数)	備考
事務局	令和5年度北陸地区国立大学法人等新任係長・専門職員研修	北陸地区国立大学法人等の係長・専門職員としての心構え及び職務遂行に必要な基本的、一般的知識を修得させるとともに、係長・専門職員としての能力及び識見を確立させ、国立大学法人等の管理運営の重要な担い手としての資質向上を図ることを目的とする。	10名	富山大学
	第18回中部地区メンター養成研修	職場におけるメンター、メンタリングに関する基本的な知識とコミュニケーション・スキルを習得させる。	4名	人事院中部事務局
	第12回国立六大学事務職員研修会	本研修会は、千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学の国立六大学の事務職員が、国立六大学連携コンソーシアムの趣旨を踏まえ、その具体的な連携・協力の推進や、大学間の垣根を越えた職員同士のネットワークの構築などを目的として実施するものである。	5名	熊本大学
	石川県「セルフケア能力向上研修」	心の調節力を高め、職務遂行上の適度なストレスと上手に付き合うための知恵を学び、生き生きと活動するためのセルフケア能力の向上を図る。	6名	石川県自治研修センター
	石川県「データの見方・活かし方研修」	ビッグデータをはじめとする統計データ等を理解・分析する力を養い、その活用方法を習得する。	3名	石川県自治研修センター
	令和5年度北陸地区国立大学法人等リーダーシップ研修	北陸地区の国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関(以下「国立大学法人等機関」という。)の管理職員に対し、立場と役割を認識し、能力及び識見を確立させ、職員としての資質向上を図ることを目的とする。	6名	北陸先端科学技術大学院大学
	2023年度国立大学法人等若手職員勉強会	国立大学等の継続的な発展に貢献する若手職員の力量向上 ①所属機関全体や職員としての役割・課題を自覚し、当事者意識を持って考える ②国立大学法人等とそれを取り巻く実状について主体的に学ぶ ③職員として必要な資質やマインドに気づき、自らが目指すべき職員像を意識する ④他機関の職員とのコミュニケーションを通してネットワークを構築する ⑤成果を所属機関へフィードバックし、各機関の発展に貢献する	2名	国立大学協会

3-1 照会事項1 BSD研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数（概数）	備考
事務局	甲種防火管理新規講習	防火管理の意義及び制度，火気管理，施設・設備の維持管理，防火管理に係る訓練及び教育，防火管理に係る消防計画などを学び甲種防火管理者として選任されることが出来る資格を取得する。	1名	日本防火・防災協会
	防災管理新規講習	防災管理の意義及び制度，施設・設備の維持管理，防災管理に係る訓練及び教育，防災管理に係る消防計画などを学び，防災管理に係る講習修了資格を追加して取得する。	1名	日本防火・防災協会